

議会だより

ふなだ

No.186
3年/4

発行：山形県舟形町議会
令和3年4月23日



表紙のことは
19Pにあります。

広くなった遊戯室でたのしくあそぶ子どもたち



明るくなっとうれしいなあ～

2月臨時会・3月定例会概要・質疑応答	2P
予算審査特別委員会概要・質疑応答	4P
議案の採決状況	7P
町政を問う 一般質問に7議員	8P
議会報モニターアンケートより	16P
議会活動	19P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20P

第1回臨時会
2月4日
3月定例会
3月3日～10日

ふるさと納税増額補正1億7千万円増

寄付総額4億7千万円に

3月定例会は、3日から10日までの会期で開催され、7名の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算など、全議案を原案どおり可決しました。
令和3年度予算については、予算審査特別委員会を設置し審査を行い、本会議において承認しました。

審議された議案

第1回臨時会

- 令和2年度舟形町一般会計補正予算
- 誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

3月定例会

- 令和2年度一般会計、特別会計(5会計)補正予算
- 令和2年度舟形町水道事業会計補正予算
- 舟形町福祉避難所設置及び管理に関する条例の設定
- 舟形町消防団条例の一部を改正する条例の制定
- 舟形町予備消防団員の災害補償措置に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 太折辺地に係る総合整備計画の策定
- 令和3年度一般会計、特別会計(5会計)歳入歳出予算
- 令和3年度舟形町水道事業会計予算

全議案の採決結果は7ページに掲載

令和2年度 主な補正予算

- ▽若あゆ温泉等管理事業 …… 2億6050万円
(施設の長寿命化工事費の増)
- ▽ふるさとづくり応援事業 …… 1億7000万円
(ふるさと便購入費、取扱手数料等の増)
- ▽都市防災施設整備事業 …… 3133万円
(折渡太郎野地区避難道路整備等に係る経費の増)
- ▽除雪対策事業 …… 3133万円
(町道除雪業務委託料の実績見込額の算出による増)
- ▽新型コロナワクチン接種体制確保事業 …… 902万円
(ワクチン接種に向けた体制確保の経費の増)
- ▽公民館事業 …… 150万円
(地区公民館施設整備費補助金の増)

令和3年度に繰り越される事業(繰越明許費)

- ▽都市防災施設整備事業 …… 3億4713万円
(福祉避難所・防災拠点外構工事・折渡太郎野地区避難道路整備工事)
- ▽若あゆ温泉等管理事業 …… 2億4700万円
(温泉機械室等増改築工事 他)

質疑応答

第1回臨時会

令和2年度一般会計補正予算

コロナワクチンの接種態勢

議員 町で該当する医療従事者と接種順位は。

健康福祉課長 舟形クリニック・歯科医院・調剤薬局・町の職員で保健師が該当し、次に65歳以上の高齢者、その次に基礎疾患のある方や介護施設に従事する方々の順番に進めてまいります。



町民の協力を得て実施されたワクチン接種の模擬訓練

3月定例会

令和2年度一般会計補正予算

若あゆ温泉管理事業

議員 2億6千万円の工事内容は。

まちづくり課長 現時点では、清流センター改修工事・温泉地内の鮎モニユメント老朽化対策・温泉ポイラー機械室増設工事・温泉貯湯槽改修工事・炊事場棟改修工事・コテージ内装外装工事と設計監理になります。

舟形町障がいのある人もない人も

共に生きるまちづくり条例の設定

中学校バリアフリー化

議員 中学校をバリアフリー化する計画はないよ。うだが、玄関の入り口付近にスロープは必要ではないのか。

教育課長 利用する方の状況に応じて、対応します。

舟形町消防団条例の一部を改正する条例の制定

消防団員の各種手当

議員 各種手当を支給することを全消防団員に周知し、報酬、手当は個人に支給するのか。

住民税務課長 次回の幹部会議等で改正内容を説明し、令和3年度から支給します。現在は各部に支給し、その部で判断しています。個人への直接支給は消防庁から新しい指針が入り次第、団幹部で検討します。



マスク着用、車内の換気を行っての火災予防広報

消防団員の感染症対策

議員 消防団員への感染症対策の指導は、これから行われる消防の演習、訓練のやり方はどのようになっているのか。

住民税務課長 広報活動については消防車内ではマスク着用、換気を行いながらの活動をするように指導しています。演習、訓練のやり方は幹部会議等で検討し、他市町村の情報を得ながら決定していきます。



改修が終了した新雪国エコ環境住宅(洲崎地内)

質 疑 応 答

一 般 会 計

歳 入

新雪国エコ環境住宅貸付収入

議員 昨年度まで計上されていた新雪国エコ住宅土地貸付収入は何故削除されたのか。

まちづくり課長 昨年7月で入居者が退去し、令和2年度で改修しています。現在は貸付するか売り払いをするか検討していますが、まだ決定していないので予算から削除しています。

議員 昨年度は44万円計上されていたが、令和3年度は22万円増額し、66万円計上されている。その内容は。

健康福祉課長 以前舟形診療所の原田医師が入居していた住宅に、昨年は町の保健師が中途から入居しました。令和3年度も引き続き4月から入居を予定していますので、1年分の貸付収入金額です。

医師住宅貸付収入

園芸大国やまがた

議員 令和2年度に比べ増額になっているが、どの程度予定が増えているか。

農業振興課長 令和2年度は管理機1台でしたが、令和3年度はハウス1棟、管理機4台、堀り取り機1台を予定しています。

歳 出

危険ブロック塀撤去補助金

議員 令和3年度は何件か申し込みがあるのか。また今後どのように周知していくか。

地域整備課長 申し込みは相談段階ですが、1件のみです。広報等での周知や個別でのお願いなども検討しております。

新型コロナウイルス接種

議員 急にワクチン接種のキャンセルがでた場合、次の方への対応はどうするのか。

健康福祉課長 具体的には決まっていますが、高齢者の場合付き添いの方に接種してもらうなど、国の方針に従って無駄のないように対処します。

狩猟免許

議員 狩猟免許の合格率アップを図るために免許を取得するための講習会を開いていく考えは。

農業振興課長 様々な事例を参考にし、要望等があれば実施を検討していきます。



舟形クリニック武藤先生協力によるワクチン接種の模擬訓練

予算総額

64億2934万円

町民福祉の増進に必要な予算配分



奥山 謙三 委員長

予算審査特別委員長報告

令和3年度一般会計当初予算は、昨年度と比較すると大型事業がなく、大幅減額になりましたが、町民目線に立ったきめ細やかな事業が数多く予算化されています。当初予算に関する質疑応答は全体で93件と、各事業が真に町民福祉などに寄与するため、活発な委員会となりました。

会計別予算総括表

(単位：万円)

会 計 名	R3年度	前年度比	
		増 減	伸 率
一般会計	425200	△136000	△24.2
特別会計	183460	△3050	△1.6
国民健康保険	56690	△2130	△3.6
後期高齢者医療	7400	△150	△2.0
介護保険	75970	1810	2.4
農業集落排水	23690	△2810	△10.6
公共下水道	19710	230	1.2
水道事業会計	34274	2611	8.2
合 計	642934	△136439	△17.5

○一般会計 42億5200万円

○特別会計 18億3460万円

○水道事業会計 3億4274万円

(当初予算比) **17.5%減**

主な事業

(新規事業)

- ☆都市防災施設整備事業……………3130万円(繰越含)
- ☆農業用機械共同利用促進事業費補助金……………400万円
- ☆特産品インターネット販売事業……………364万円
- ☆介護予防「通いの場」拠点事業……………235万円
- ☆鳥獣被害対策事業……………86万円
- ☆東北農林専門職大学総合プロジェクト事業……………20万円

令和3年度予算審査は3月5日から9日まで議員全員による予算審査特別委員会を設置し、委員長に奥山謙三議会運営委員長、副委員長に佐藤広幸総務文教常任委員長を選任し、一般会計及び特別会計、水道事業会計を審査しました。

議案の採決状況

Table with columns for session (e.g., 令和3年 第1回臨時会), proposal number, title, and decision status for 10 members. Includes a summary table for the 令和3年 第1回定例会 (March 3-10).

*議長は採決に加わりません。 *報告は採決を行いません。

◆令和3年 第1回定例会 会期及び審議内容. Table detailing meeting dates, types, and agenda items.



ドローンで撮影された舟形町の美しい風景 (木友町内上空から長者原方面を望む)

情報発信

議員 情報発信動画作成事業委託料の内容は。

まちづくり課長 これまではパンフレット等を中心に町のPRを行ってききましたが、今後は若あゆ温泉や町の景色等の動画を活用した、町の情報発信も行っていきます。

町道の除雪業務委託料

議員 町道除雪業務委託料が年々増加してきているが、経費削減の為、排雪作業の改善が必要では。

地域整備課長 天気の状態もありますが、今後は雪解けの状況も踏まえ、3月期の排雪経費の削減を考え、行っていきます。

福祉避難所管理事業

議員 会計年度任用職員の人件費が計上されているが、どのような方を想定しているのか。

総務課長 福祉避難所の管理人として、有事の際に福祉避難所の機能をしっかりと発揮できる、また、様々な機械器具の使用にも対応できる方を考えております。

女性消防団の現状

議員 団員が減少していると聞いているが現在の人数は。また、団員勧誘の方法は。

住民税務課長 現在6名ですが、4名から退団希望があります。団員の勧誘は、女性消防団員募集のチラシを配布し、行います。

給食用器具購入品

議員 小学校で243万円、中学校で213万円の購入費が計上されているが内容は。

教育課長 小学校器具は、テーブル14台、椅子84脚、運搬台車です。中学校器具は、テーブル8台、椅子48脚、食器消毒保管機です。

若者定着奨学金

議員 事業の内容と、負担金は何人分を想定しているのか。

教育課長 山形県内に就職した場合に、奨学金の返還が免除される事業です。県からの割り当ては5名で312万円の負担金になります。

登山道の整備

議員 昨年度は、亀割山登山道、はまぐり沼登山道整備に26万円計上していたが、本年度予算を10万円に減額したのは何故か。

教育課長 亀割山登山道は、みどり環境税で整備するので、その分減額しています。



毎年整備がされている亀割山登山道



佐藤 広幸 議員

舟形中学校は移転するのか 大規模改修するのか その方針は 将来は移転する考えでいる



希望を胸に新たな中学校生活のスタート

【質問】 昨年3月定例会において、「一貫教育のあり方、中学校の移転場所によって変わるのではないか」との質問の中で、令和2年度中に、移転するか大規模改修を行うかの判断を方針として示したいと答弁しています。今年3月で期限を迎えるが、中学校は移転するの大規模改修して存続さ

【町長】 町では、将来を担う、町の宝である子どもたちを守り育てることを基本目標とし、「共に生きる力を持った子供の育成」を目指して、保・小・中の連携、協力による一貫教育の充実に取り組んでいます。教育委員会

【町長】 教育委員会では、今年度、教育委員会協議会を2回開催し、小中一貫教育の方向性について協議しています。その中で、町の将来人口推計について、急激な児童生徒数の減少が見込まれているため、一定数を割り込んだところが設置の目途

【質問】 その結果に至るまでどんな議論がなされたのか。

でも、小中一貫教育について、子どもたちを最優先に考えた方針を検討していきたいとして、今後町に合った方法を作り上げていくため、準備委員会などによる検討を始め、いく考えであり、将来は義務教育学校への移行を視野に入れています。そのため、町としてもこの考えを尊重し中学校は大規模改修は行わず、時期は未定ですが、将来的に現在の小学校と近接又は一体的な学校を目指し移転する考えでいます。

になるのではないかと考えた意見や、学校施設がなくなることで地元地域への影響など、多数の意見が出されました。そのため、町と教育委員会による総合教育会議では、現段階での最良を検討してほしいと指示し



コロナ禍のなか、縮小して行われた卒業式

たところでは、町として多様な一貫教育についての検討、具体的な計画立案については、時間をかけて行っていく考えです。

町政を問う

一般質問に7人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねます。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。
(本会議での持ち時間は一人40分)

佐藤 広幸 議員

9ページ

- ★1 舟形中学校は移転するのか大規模改修するのか その方針は

荒澤 広光 議員

13ページ

- ★1 専門職大学開学に向けて町の対応は

小国 浩文 議員

10ページ

- ★1 新型コロナワクチン接種の準備は万全か
- ★2 高齢者世帯の大雪対策は

叶内 昌樹 議員

14ページ

- ★1 持続可能な地域づくりとは

奥山 謙三 議員

11ページ

- ★1 コロナによる町経済への影響と対策は
- ★2 小中学校施設におけるバリアフリー化の現状と方策は

伊藤 欽一 議員

15ページ

- ★1 雪崩防止対策について
- ★2 新たな町の魅力発信は

斎藤 好彦 議員

12ページ

- 1 経費助成でPCR検査の促進を
- 2 ゼロカーボンで誇れるまちづくりを
- ★3 北のゲートウェイ構想の実現を



一般質問でもアクリル板を使った感染症対策

※★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載

<一般質問 掲載要綱>

- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。



奥山 謙三 議員

コロナによる町経済への影響と対策は

引き続き有効な対策を検討していく

【質問】 当町では幸いにも1月末現在一人も新型コロナウイルス感染者が確認されておらず、町民各位のご協力に拠るものと思えます。人的被害は発生していませんが、町経済には影響が出ていると考えています。令和2年に於ける影響と、これらに於ける影響を緩和するために町で考えている今後の対策についても質問します。

【町長】 「農業への影響と対策」米についてはJA概算金は下落、野菜、果樹、花



舟形小学校に設置済のエレベーター

卉類は、前年よりもやや高く取引、山菜のタラノメとウリイは下落し、乳価は安定して推移、繁殖牛などの肉用子牛の取引価格が一時大幅下落している状況です。対策として、収入保険の活用や、米についてはナラシ対策、また、野菜類は価格安定対策制度があります。それらのセーフティネットに対象とならない肉用子牛及び山菜などは、国の地方創生臨時交付金を活用し、新たな支援制度を設けました。

【商工業への影響と対策】 一番影響を受けた業種は飲食業サービス業及び温泉や宿泊、クリーニングなどの観光関連業、次いで小売業という状況です。製造業及び建設業については、雇止めや人員整理などはなく、廃業や倒産は0件でした。このような状況から令和2年は国の持続化給付金や雇用調整助成金はじめ、県や町の支援と自助努力により営業を継続することができたかと判断しております。

【今後の支援】 「国の第3次地方創生臨時交付金を活用し、引き続き有効な対策を検討します。」

【小中学校施設におけるバリアフリー化の現状と方策はさらなるバリアフリー化に努める】

【質問】 当町の小中学校のバリアフリー化は現在どの程度進んでいるのか、



スロープ完備の舟形小学校正面玄関

【町長】 舟形小学校及び舟形中学校のバリアフリー化の現状は、校舎内及び体育館への移動は車イスでも可能です。ただ中学校の特別教室棟3階のみ、車イスでは行くことが出

来ない状況です。エレベーターと車イスの方も使

用できる多目的トイレは小中学校に設置済です。玄関のスロープは小学校には設置されていますが中学校には設置されていません。今後、町としても、学校施設の計画的な整備により、更なるバリアフリー化に努めます。



小国 浩文 議員

新型コロナウイルスワクチン接種の準備は万全か

予行演習の実施等により万全を期す

接種予定時期

対象者	接種開始の見込	ワクチン納入数	備考
1 町医療従事者	3月下旬		県が主体に調整
2 高齢者等の施設入所者	4月19日の週	1箱	クラスター発生防止の為、高齢者施設等から先に接種を開始。
3 65歳以上の高齢者	4月26日の週	1箱	
4 高齢者以外で基礎疾患を有する方	高齢者の接種終了後	未定	
5 それ以外の方	1~4の接種終了後	未定	

舟形町のワクチン接種予定表（3月26日全戸配布）

【質問】 政府では新型コロナウイルスワクチン接種については2月下旬から医療従事者や高齢者、基礎疾患がある人の優先接種に続き一般の人への接種開始を

6月ごろと想定しているようですが、町としては接種場所や医療従事者の確保などワクチン接種準備体制の目途はついているのか伺います。

【町長】 感染収束に向け大きな期待が寄せられているワクチンの接種については、国内で初めて、アメリカファイザー社製ワクチンが2月14日に承認され、医療従事者等への先行接種が始まりました。町としては、4月からの一般住民へのワクチン接種に向け、接種前の予行演習の実施や医師、保健師、看護師など必要な人員を確保し、ワクチンが供給されたら速やかに接種ができるように準備に万全を期してまいります。

【高齢者世帯の大雪対策は助成単価の変更は考えていない】

【質問】 舟形町では他の市町村に先駆け、高齢者世帯や身体障がい者世帯に対して、生活の不安を解消するため、屋根の雪下ろしや玄関前道路等の雪払いを実施しているが、その中で屋根の雪下ろしの人件費として1万2千円の支給を行っているようですが、業者などに要請した時の差額が大きく非課税世帯や身体障がい者世帯には大変な出費になると考えられるので雪下ろしに関して支給額を増やす考えはないのか伺います。

【町長】 高齢者世帯及び身体障がい者世帯が安全に生活できるように、除雪の支援を行っています。

対象となるのは、所得税非課税世帯で、なおかつ、自力で又は親族等の協力が得られず除雪することが困難な概ね65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯、身体障がい者のみの世帯、もしくは、概ね65歳以上の高齢者と身体障がい者だけで構成されている世帯となっています。この支援の目的は、雪による倒壊等



今年の豪雪による高齢者世帯の雪の状況

の危険回避や安全確保です。高齢者であっても自力で雪下ろしをされている方とのバランスを考慮する必要もあることから助成単価を超える部分については個人負担でお願いしたい考えです。



荒澤 広光 議員

専門職大学開学に向けて町の対応は

大学生の受け入れを全面的に支援する



大学建設に向けて工事が始まった農林大学校敷地

質問 山形県では県立農林大学の敷地に、農林業を牽引し高度な人材を育成する、東北農林専門職大学（仮称）を令和6年4月開学に向けて準備しています。県が発表した経済効果

は、学生や教職員の飲食や居住等の消費、大学と企業との研究開発による売上増等、年間で令和6年度は5億円強、全年度がそろえば令和9年度は10億円強、開学10年目には19億円強の経済効果が生

ずると推計しており、専門職大学から距離的に一番近い本町でも、通学する学生を応援するため、居住のため遊休施設、民間企業の寮、空き家等の利活用が可能か否か積極的に調査を行い、受け皿づくりが必要だと思いますが、町としての考えを伺います。

隣地実務実習が行われる計画になっていきますが、現時点での受け入れ先は最上地域全体で68経営体で、そのうち本町は16経営体と最も多い状況です。令和6年4月以降の開学に向けて準備を進めてまいります。

町長 専門職大学の開学に向けては全面的に支援したいと考えており、町では令和3年度に役場内に横断的なプロジェクトチームを設置し、将来的には舟形町で就農して頂くことも視野に入れながら、必要な支援を検討してまいります。これまで進めてきた取り組みは、県と町が連携し、実習先である農業経営体の選定作業を行っております。専門職大学は講義だけでなく、学内及び学外で行われる豊富な実習が特徴となっております。実際に経営体へ実習に行き、2年生から4年生において、

町長 学生を積極的受け入れ、舟形町に住んでいただく事が必要だと思っております。空き家をリフォームしてのシェアハウスは、例えば一つの地域内に、1棟だけでなく複数の建物を準備して学生村のような事ができれば良いのではないかと考えております。学生の

入学定員

	入学定員 (1年次)	編入学定員 農林大から(3年次)	収容定員 (4学年全体)
農業経営学科	32名	若干名	128名+α
林業経営学科	8名	若干名	32名+α
合計	40名	若干名	160名+α

※農林大学校からの内部進学枠を含む3年次編入学の定員を加えることとする。

大学開学時、各学科の入学定員



斎藤 好彦 議員

北のゲートウェイ構想の実現を

協議に参加し早期の整備推進に取り組む



開業3年で来場者500万人達成「道の駅 米沢」

質問 東北中央自動車道の整備が日増しに進み、最上地域と首都圏が高速道路により直結する時が間近となって来ました。この地域が高速道路ネットワークに組み込まれることにより従来に増して人や物の往来が拡大し、産業発展、観光振興さら

には定住人口の拡大などが期待されます。地域としてこの機会をどのように活かすかが課題であり、地域資源の発信拠点としての「道の駅」の整備が必要であると考えます。現在、道の駅構想については「もがみ創生北のゲートウェイプロジェクト検討会」で協議していますが、最上地域の発展・振興に向けぜひ実現に結び付けて欲しいと思えます。検討会での状況など町長の考えを伺います。

が設置され、現在、管内の副市町村長を中心とした「施設整備等に関する分科会」で検討が行われているところです。分科会では、東北中央自動車道の整備状況や道の駅整備による観光、産業分野等への波及効果をはじめ、自治体の担当者を招いて県内の道の駅の取り組みを聞くなど、情報を共有しつつ、道の駅整備の必要性と、施設の概要、整備費用、運営主体等について意見を交換しています。しかしながら、北のゲートウェイ構想については、最上8市町村が一体となって推進すべきとの点で一致しているものの、独自の整備構想を持つている市町村があるなど、各市町村の意識には

温度差があるのが現状であり、引き続き協議が継続される見込みであります。町としても、今年度からスタートした第7次総合発展計画の短期アクションプランにおいて、基本目標3の産業経済の分野で、主な事業・取り組みの中に「県最上総合



リニューアルオープンした「道の駅 さがえ」

町長 最上地域の玄関口としての道の駅の整備については、県最上総合支庁が事務局となり、「もがみ創生北のゲートウェイプロジェクト検討会」

支庁と連携した最上地域の玄関口となるゲートウェイ型の道の駅の整備についての協議に参加し、早期の整備推進に取り組んでまいります。

支庁と連携した最上地域の玄関口となる道の駅の「検討」を盛り込むなど、今後も町の活性化を念頭に、引き続き最上地域の玄関口となるゲートウェイ型の道の駅の整備についての協議に参加し、早期の整備推進に取り組んでまいります。

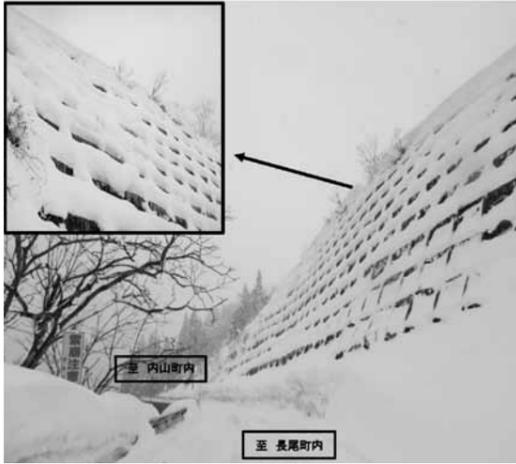
支庁と連携した最上地域の玄関口となる道の駅の「検討」を盛り込むなど、今後も町の活性化を念頭に、引き続き最上地域の玄関口となるゲートウェイ型の道の駅の整備についての協議に参加し、早期の整備推進に取り組んでまいります。



伊藤 欽一 議員

雪崩防止対策について

補助制度を活用した実施の可能性を検討



雪庇の崩落が危険な法面（町道 内山長尾線）

【質問】 町道内山長尾線で、格子枠コンクリートで斜面の保護がされているが、格子枠に雪が溜まり危険なので雪崩防止対策の要望が、平成23年から継続し出されています。平成27年度からは長沢地区連合町内会とし陳情されていますが、町の回答は毎年同じよう進展がまったく見えない状況です。これまでの取り組みと今後の展望について町長に伺います。

【町長】 町道内山長尾線は長沢地域・上長沢地域間を結ぶ重要路線であり、雪庇の危険性、対策の必要性については十分認識しています。町では応急対策ではありますが、格子枠の法尻に雪庇を受けるとポケットを雪でつくり対応しています。現在、雪崩対策の必要な重要町道は、緊急度から判断し、折渡松原線、舟形太郎野線、内山長尾線となりますが、対策工事費の補助事業を模索していました。

【町長】 観光物産協会は特産品の情報発信と販路拡大や、新たな体験メニューの開発検討など、交流促進による町の活性化に取り組んでおり、舟形町

【質問】 町の特産品を使用しているコース料理を想定した試食検討会を町観光物産協会が開催との記事が新聞に掲載されています。舟形町振興公社と観光物産協会との関わりと、若あゆ温泉を核とした観光の発展をどのように結び付け町の魅力を発信していくのか町長の考えを伺います。

【町長】 国は「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」を策定し、令和7年までの5ヶ年で取り組むこととしており、町ではこの機会に、補助制度に照らし合わせて実施の可能性を検討します。

新たな町の魅力発信は食の情報発信とワーケーションを展開

振興公社は鮎料理をはじめとした加工品により、「魅力ある食」の提供をしております。公社が管理する若あゆ温泉あゆっこ村周辺は、町の一大交流エリアとなっています。来年度は、あゆっこ村のWiFi環境の整備と、自然を生かした体験メニューによるワーケーションを展開していきます。



WiFiが整備されワーケーションと町の魅力発信が期待される「あゆっこ村」

※ワーケーションとは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた言葉で、観光地などでテレワークを活用し、余暇を楽しむつつ仕事をすること



豪雪時には自助・共助は限界 「排雪困難で植木を伐採せざるを得ない事例」

【質問】 昨年の記録的な少雪とは打って変わり、12月から大雪警報が発令され、年明けには豪雪対策本部が設置されたわけですが、冬の暮らしを守る除排雪体制や安心な生活環境の体制が急務と思えるが、高齢化も進む中で除排雪が困難になると町を離れてしまうのではないのでしょうか。隣接する住宅地では排雪する場所

【町長】 豪雪に関する近年の課題は、気候変動に影響された短期的な豪雪や人口減少と高齢化により地域の除排雪が弱体

の確保も困難で苦勞なされる方も多くいるのではないのでしょうか。町道を時期等を定め地区ごとに分けるなど住民一斉での除排雪は出来ないのか。また、除排雪で路線を増やす際には排雪時間に対応すべきオペレーターは増やしているのか。更には除排雪で傷んだガードレール等の修復又は交換等の対応策は、国道・県道への要請は行っているのか、景観優美な町並みも大切だと思いが、町長の雪に強いまちづくりに関する考えを伺います。

化していることが挙げられます。集中的な豪雪については、災害時と同等の対応をしておりますが、今後も検証しながら体制の整備を進めてまいります。すべての除排雪を町で行うことは不可能ですので、自助・共助・公助が連携した除排雪の取り組みを進めているところです。住民一斉での除排雪については「官民協働一斉除排雪」として平成25年頃に注目された取り組みで、地域ごとに各戸で一斉に町道に雪を出し、町が排雪運搬を行うものです。最上管内では舟形町と戸沢村以外の市町村において各一地区ずつ実施しています。舟形町では町道及び生活道路等のきめ細かな除雪対応や雪

対策が充実しており、要望自体がないのが現状です。路線が増えた場合の対応については平成30年度に生活道路除雪に対応するため小型除雪車を一台増やしています。今年度はひだまり第二分譲地の路線が増加し、除雪体制を変えていないため、作業時間は長引いている

状況ですが、工区間で路線の調整を行う事で対応可能と考えており、オペレーターを増やす計画はありません。除排雪で傷んだガードレール等の対応は、国・県・町がそれぞれ区分により破損等の状況に応じて責任を持つて順次、補修することになります。



国・県・町道の統一が望ましい景観重視のガードパイプ



叶内 昌樹 議員

持続可能な地域づくりとは

自助・共助による取り組みが重要



貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより

今回は議会だより185号(1月22日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。

.....一年間、数多くのご意見ありがとうございました.....

◆表紙について

- ・新型コロナウイルスの収束の願いも込め、飾りつけをしている姿がとても良い。マスクをはずした笑顔が早くみたい。
- ・コロナ禍の中で色々な行事ができてきているなと感じた。
- ・いろいろな行事が中止されている中で、昔ながらのこうした行事の様子が見られるとホッとします。
- ・伝統行事をみんなでやる姿がとても良い。
- ・ご年配の方達にとっては懐かしさのある風習も、子供たちにとっては、新しい遊びのようで、意味のある行事を大切に後世に伝えることは見ていてほほえましく、嬉しい。

◆年頭のあいさつ、定例会等概要、質疑応答、採決状況表について(2~6ページ)

- ・新型コロナウイルスの感染者を舟形町から一人もでていないことを、町民としてうれしく思う。予防対策の取組みも浸透していることも評価しているが、住民1人1人の感染に対する知識と努力があつてのことと感じている。今しばらく気を緩めず対策に注意していきたいと思う。減債基金積立金の説明があつてわかりやすかった。
- ・インフルエンザの予防接種率が高く、町民の意識の高さを感じた。
- ・新型コロナウイルスによって、こんなにも町の状況が変わってしまうのかと驚く程の補正予算にびっくりした。
- ・コロナ対策では、この一年間いろいろな事をしてくれたと思う。悪い年というイメージかもしれないが、やらなくてはいけないものなど、普通と思って過ごしてきた年では気づかなかったことに気づかされた、決して悪い年ではなかったと思う。ぜひ、これからも町民のために頑張ってください。

◆一般質問について(7~13ページ)

- SDGsの活用・取組みとあるが、どういうものなのか。いまいちわからなかった。少し説明をして欲しいと感じた。
- ・子どもたちの通学に対して、町全体で見守っていく必要があると読んでいて感じた。
- ・農作物などの被害はもちろん、この地域で安心して暮らしていくために、有害鳥獣対策は必須と思われる。なかなか難しいが、効果的な対策が進めばと思う。
- 最近よくSDGsとテレビ等と言っているが、いまいちよく意味が理解できない。高齢者が多いこの町では、もっとわかりやすい取組みを、わかりやすいように発信すべきではないだろうか。高齢者にSNSといっても無理ではないか。
- SDGsは私も興味がある。どの年代の方がみてもわかりやすい活字の大きさなど工夫してもらいながら、発信してもらえると嬉しい。縄文の女神が舟形に帰ることを里帰りということに対して、里帰りはまた嫁ぎ先に帰るのかなというさみしい表現のような気がする。そう言わなくても良い日が来ると良い。

◆第13回議会報告会、議会活動について(14~19ページ)

- ・議会だよりふながたを講評していただいたとあるが、どのような意見があつたのかが気になるところ。町民目線でわかりやすい議会だよりになることに期待する。
- ・空き家対策が毎回議題となるが、冬は特に屋根に雪が積もり、危ない家もあつた。隣の家に住む人も不安になると思う。
- ・地区公民館感染症対策支援事業について、どの公民館でどういう事業利用がされたのか、自分の地区の公民館はどうなのかと気になった。
- ・写真を見る限り、各地区の参加人数がとても少なく、する意味があるのか疑問である。
- ・議会報告会を読むと町民の方々の思いや考えも知ることができるし、町の考えもとても良くわかり、これからも読んでいきたいと思う。町を知ることは、そこに住む人たちの思いを知ることなんだと思った。子育て支援だけでなく、年配の方の支援もお願いしたい。

◆えがったなあ、町民の声、編集後記について(20ページ)

- ・えがったなあ伊藤さんご夫婦と駿杜くんには、遠方から嫁いできた方々にたくさんのエネルギーとパワーを与えてくれているように思う。これからもお幸せにと願う。室内運動場や交流場を望んでいるが、本当に室内の遊び場は必要だと思う。若い世代がくらしやすい環境を整えてほしいと思う。
- ・いつも見えています。それぞれの家庭の声がきけて見ていておもしろい。色々なご家庭を見たい。「声」もすごく良い。町民のリアルな声。ぜひ耳を傾けていただきたい。
- ・「えがったなあ」の写真は、ご家族の雰囲気が伝わる良い笑顔の写真。「声」の方も、証明写真的なものではなく、もっと自然な感じのものにできないのかと思った。
- ・町民の声がダイレクトに聞ける企画だと毎号思う。写真もほほえましいものが多く、ぜひ多くの町民にインタビューして欲しいと思う。
- ・町民の声を読ませてもらって、子どもからお年寄りの方を含めた交流の場や行事が増えるといいなと私も思った。

◆議会・町に対する意見等、その他

- ・コロナ禍の中でのこの1年、先が見えない今後、町民へ寄り添い、温かい見守りと協力支援をこれからもお願いしたい。
- ・冬場の通学路で徒歩通学の子どもたちに対して、民家の屋根の落雪対策は万全なのか。道路脇に積もった雪で子ども姿が見えづらい時もある。
- 冬が終わると雨が降り出すが、保育園前の避難所建設は順調なのか。
- これから始まるコロナの予防接種がスムーズにできるように段取りをお願いする。
- ・以前、防災無線で子どもさんの声を聞いた。子どもの声は、とても元気づける力があると思うので、また何かの形で聞くことができれば良いなと思っている。特にコロナの時代、外との関わりを減らして生活している人たちにとっては嬉しいのではないかなと思った。

モニターさんのご意見にお答えします

Q. 保育園前の避難所建設は順調か、コロナの予防接種がスムーズにできるようにお願いします。

A. 福祉避難所は外構工事を含め4月末に全て完成し、コロナワクチン模擬接種訓練を3月27日に実施し万全の体制で準備しています。

Q. SDGs(エスディーゼーズ)とは。

A. 国連が定めた17の目標で構成「S(持続可能な)D(開発)Gs(目標)」環境問題を考慮しつつも経済的に発展し戦争や貧困のない世界を2030年までに達成予定で193か国が参加している目標のことです。くわしくは「広報ふながた」令和2年12月号に掲載しています。

山形県町村議会議長会表彰

議長在職5年以上
八俣 太 町議会議長



陳情

3月定例会で審査した陳情は次のとおりです。
「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現に
つながる30人学級の実現」に関する陳情

- 陳情者 少人数学級をすすめる県民の会
- 世話人代表 山形大学名誉教授 高木 紘一
- 元小学校校長・高島町議員 伊沢 良治
- 社会福祉法人たんぼぼ会理事長 佐藤 匡子

意見書

●安全・安心で、ゆきとどいた教育実現のために
早急に30人学級実現を求める意見書
(右記の意見書を政府関係機関に提出しました)

総務文教常任委員会所管事務調査報告

豪雪による施設への影響及び町の支援

1. 期 日 令和3年1月20日(水)
2. 調査施設 舟形町公有財産無償貸付施設
3. 所 感
今回の豪雪により施設は大変な苦勞を強いられている現状であり、また、新型コロナウイルス感染症の影響で数人の就労者が通所を控える場合や、豪雪で送迎が出来ない等が把握された。豪雪対策本部が設置された場合、地域貢献、障がい者支援、福祉を行っている事業者に対して、出来る範囲で除雪支援、援助をすべきと行政に強く働きかける必要があると考える。



- ・小学校のタブレットの導入状況及び活用
- ・防災センター及び福祉避難所の運用

1. 期 日 令和3年2月19日(金)
2. 所 感
1年生の授業進捗は、タブレットの使いこなしが想定以上であり、指導力と子供たちの順応性に感心した。防災センター及び福祉避難所については、運用後に使用状況及び備品についての再度調査が必要である。

産業振興常任委員会所管事務調査報告

町道及び農業用ハウスの除雪状況、被害調査

1. 期 日 令和3年1月18日(月)
 - ① 町道(町内各所): 除排雪は順調。
 - ② 農業用ハウス(沖の原地区、新堀地区)
パイプハウス5棟、農作業小屋2棟の被害。
2. 今後の課題
本来、適時に除雪が行われていないハウスが倒壊した場合、補助事業での復旧は望ましくないとされるが、補助事業の要件が明確でないため、適時の除雪呼びかけ等を強化すべきである。
雪害の対応策として園芸施設共済の制度等についての説明、周知が重要である。



防災センター及び福祉避難所の進捗状況

1. 期 日 令和3年2月12日(金)
 - ① 防災センター 2月10日現在進捗率は80%
 - ② 福祉避難所 2月9日現在進捗率は77%
(外構工事以外)
2. 今後の課題
両施設とも平時での利活用が課題であり、有効活用に向け、十分に協議検討すべきである。災害等により福祉避難所を開設する際は、感染症対策にも万全を期す必要がある。

議会のつどひ

30日	26日	18日	17日	16日	3日	1日	3月	28日	25日	24日	19日	18日	17日	16日	12日	4日	1日	2月	20日	18日	15日	13日	10日	8日	1日	1月	
議会広報常任委員会	舟形町福祉避難所「てこと」及び舟形町防災センター合同竣工式	舟形小学校卒業式 ほほえみ保育園卒園式	舟形中学校卒業式 最上県勢懇話会	舟形中学校卒業式	3月定例会(～10日)	全員協議会	3月定例会	山形県立新庄病院改築整備工事安全祈願祭	全員協議会	議会運営委員会	山形県町村議会議長会定期総会	総務文教常任委員会所管事務調査	議会運営委員会	議会活性化特別委員会	議会運営委員会	産業振興常任委員会所管事務調査	教育功労者表彰式	第1回臨時会	全員協議会	置賜地方町村議会議長会行政視察調査来町	総務文教常任委員会所管事務調査	産業振興常任委員会所管事務調査	議会広報常任委員会	議会活性化特別委員会	消防安全祈願祭及び出初式	議会広報常任委員会	1月

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

表紙のことば

新年度が始まり、舟形町では4月1日から新たな子育て支援事業がスタートしました。さっそく子どもたちが訪れ、今までの4倍の広さのホールでのびのびと遊んでいました。まちの宝である子どもたち、これから元氣いっぱい成長することを願っています。



議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

- 「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。
- 応募方法: 写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。
- 問合せ: 舟形町議会事務局 32-0030 (直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 6月8日(火)～11日(金) までの予定です。

舟形町議会活性化特別委員会報告

1. 委員会設置期間
令和元年9月11日～令和3年4月30日
2. 主な調査検討事項
 - (1) 議会基本条例の見直しと検証
 - (2) 災害時における議員の行動指針の策定
 - (3) 議員のなり手不足、議員定数、議員報酬の検討
 - (4) オンライン委員会の開催
 - (5) 議会報への採決状況表の掲載(表決方法の検討)
 - (6) その他



タブレットによるオンライン委員会(リハーサル)

えがったなあ

シリーズ



今回は、堀内の^{はるか}遼さん(旧姓：加藤)と結婚した、山形市出身の後藤佑太さんです。皆さんよろしくお願いします。

◆どんなきっかけで彼女(奥さん)と知り合いましたか？
バドミントンの練習で知り合いました。

◆舟形町での生活はどうですか？
のびのびと過ごしながら、洗車やバーベキューが気持ち良くて、楽しく生活できています。

◆舟形町の良いところ・悪いところは？
良いところ のどか。B G 体育館がいつでも使える。悪いところ 虫が苦手なので、虫がよく出るころ。

◆舟形町に望むことはありますか？
スーパードコンビニが増えてほしいなと思います。B G 体育館が少し広くなると嬉しいです。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は富田地区で、米作りとねぎを生産している専業農家です。大変ではありますが、とてもやりがいを感じています。冬期間は県道の除雪機械オペレーターとして働いています。

現在、農業を取り巻く環境は大変厳しいものになっていきます。農業者の高齢化による離農や担い手不足に伴う耕作放棄地の増加などが懸念されています。

今後の目標は、作業効率の向上と生産コスト削減に取り組み、規模拡大を図り、安心で安全な農産物を生産して行きたいと思っています。

行政に望むことは、若い就農者が増えるような魅力ある政策を考えていただき、希望の持てる安定した農業経営が出来るように期待しています。



加藤 陽介 さん
(富田二)

(議会より)
安定した農業経営の確立に議会としても協力していきます。

編集後記

3月11日で東日本大震災から10年になりました。災害関連死は約2万2千人に上り、約4万1千人が今も避難中です。復興に向け、国はこれまで約37兆円投入してきましたが、被災地の人口減少は深刻です。人々が安心して古里で暮らせることを願うばかりです。

新型コロナウイルスの感染急増で、県内一部市に緊急事態宣言が出され、午後9時以降の営業自粛を求められています。幸い舟形町では1人の感染者も確認されていませんが、4月19日の週よりワクチン接種を開始します。初確認から1年が経ち、まだまだ収束は見通せませんが、3密をさけ十分注意しましょう。

(石山 和春 記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 伊 藤 欽 一
副委員長 小 国 浩 文
委員 石 山 和 春
委員 荒 澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹

